

Topic トピック



茶のみやきんじろう © 掛川市

# 議会から 市長へ政策提言

掛川市議会では、各常任委員会が1年間のテーマを定め、調査研究を進めてきました。11月の議会報告会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度もWeb開催とし、常任委員会の活動報告等を行い、市民の皆さんのご意見を伺いながら調査研究を進めました。11月定例会（政策議会）では、各常任委員会協議会を開催し、行政との意見交換等を行い、さらに検討しました。

これら、所管の常任委員会が調査研究の成果としてまとめた2つのテーマについて、全議員による政策討論会で討論を重ね、「提言」として取りまとめ、令和4年3月30日に掛川市長へ提出しました。



議長から市長へ提言書を渡す



提言書の内容を市長へ説明

## 広域連携について

今後、高齢化や人口の低密度化等により行政コストは増大するが、資源は限られ、各自治体は財源不足や専門人材の確保が懸念される。そこで、市民生活や行政サービスの維持、更なる向上を図るため、近隣市町と様々な分野で連携することがより重要と考える。

この度の、新型コロナウイルスのワクチン接種において、袋井市・森町との連携によるエコパ会場の設置は、積極的な連携の取り組みとして実感するところである。

広域連携において中東遠地域を掛川市が主体的に牽引することを期待し、以下のとおり提言する。

- ① 庁内に広域連携の研究会を立ち上げ、課題意識を持って取り組むこと。
- ② 市民ニーズにあったDXの推進を図るとともに広域的な視点でも検討すること。
- ③ 森掛川インターチェンジを活かした土地利用と地域活性化策を広域連携も視野に検討すること。